PCW-1179A(10030)

施工説明書

INAX

シャワートイレ K シリーズ

CW-K47 型　CW-K45 型　CW-K37 型　CW-K35 型
CW-K43 型　CW-K41 型　CW-K33 型　CW-K31 型

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告・・・	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
注意・・・	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

施工説明書に従い、正しく施工してください。 ※感電・火災・ケガの原因になります。 ※漏水し、室内浸水の原因になります。	指示実行
修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。 ※感電・火災・ケガの原因になります。	分解禁止
本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。 ※感電・火災の恐れがあります。	水かけ禁止
確実にアース線をアースターミナルに接続してください。 ※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。 ※コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。	アース接続
バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。 ※感電・火災の原因となります。	水場使用禁止
ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。 ※感電・火災の原因になります。	禁止
電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。	禁止
上水道以外に接続しないでください。 ※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。	禁止
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。 ※感電の原因になります。	ぬれ手禁止
●交流 100V 以外では使用しないでください。 ●タコ足配線はしないでください。 ※火災の原因になります。	禁止
電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。 ※ 感電・火災の原因になります。	指示実行

⚠注意

製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを完全に洗い流してください。 ※製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。	指示実行
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。 ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。 ※漏水し、室内浸水の原因になります。	指示実行
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。	指示実行
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 ※凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。	指示実行

電源と給水の確認

■電源コンセントは？

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- コンセントは **AC100V、最大定格 460W** に適した**アースターミナル付接地極付コンセント**を使用してください。
  （部屋暖房ユニットを接続する場合は、最大定格 840W に合わせてください。）
  すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- **必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。**
  アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1.0m です。

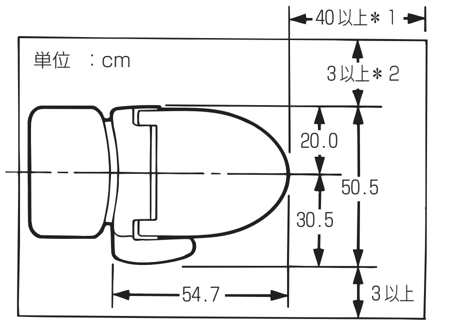
※施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

■使用する水は？

- **給水は必ず上水道に接続してください。**
  中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- **給水圧力は 0.06MPa {0.6kgf/cm^2} ～ 0.75MPa {7.5kgf/cm^2} でご使用ください。**
  上記範囲外の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
- **給水は便器の止水栓から取ってください。**
  フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

トイレ室内の確認

シャワートイレを便器に取り付けると右図のようになります。
トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。



＊1：CW-K47、K45、K37、K35 型の場合は、自動開閉の誤作動を避けるため、距離を確保してください。
＊2：部屋暖房ユニットを取り付ける場合は、11cm 以上必要です。

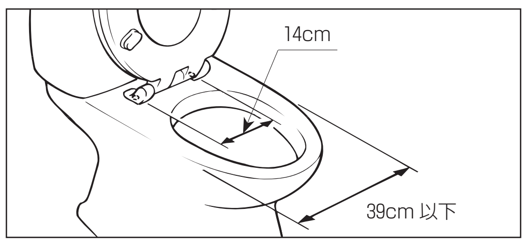
■シャワートイレを並べて設置する際の注意

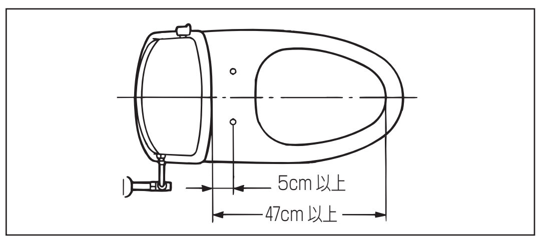
シャワートイレを左右または前後方向に 2 台以上並べて設置した場合、隣のリモコン信号を受けて誤動作する恐れがあります。その場合は、相互干渉を防止するための信号の異なるリモコンを用意しております。品番末尾に (C1) もしくは (C2) をつけて発注してください。

便　器　の　確　認

1. 便器の大きさを測ってください。

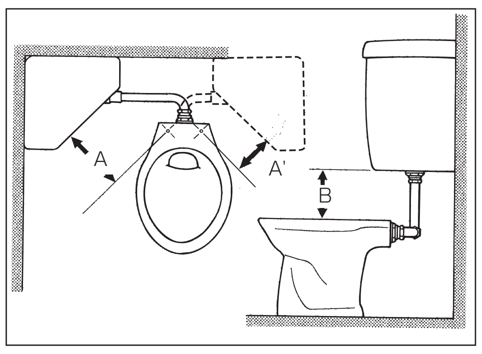
便器によっては、シャワートイレが取り付かない場合があります。
下図に示す寸法を確かめてください。





2. 隅付タンク式便器は、①か②（③か④）のどちらかを満足していますか？

隅付タンク式の場合、右図の A(A')・B 寸法が①か②（③か④）のどちらかの条件を満たしていれば取付可能です。



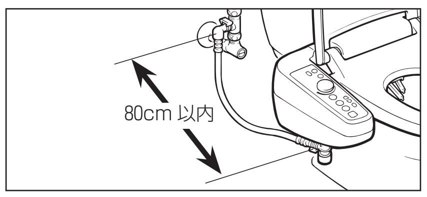
CW-K47、K45、K37、K35 型
① A：24cm 以上
② A：15cm 以上 かつ B：17cm 以上
③ A'：17cm 以上
④ A'：15cm 以上 かつ B：17cm 以上

CW-K43、K41、K33、K31 型
① A：24cm 以上
② A：13cm 以上 かつ B：20cm 以上
③ A'：17cm 以上
④ A'：13cm 以上 かつ B：17cm 以上

①と②（③と④）の両方とも満たさない場合は、タンクの位置を上げる等の処置をお願いいたします。（お求めの取扱店にご相談ください。）

3. 本体給水ホース（同梱）の使用可能な条件

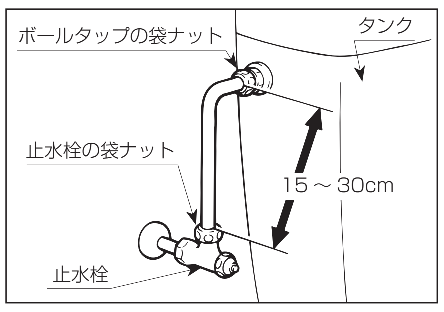
同梱の本体給水ホースは 95cm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 80cm 以内が適切です。（右図参照）
※ 80cm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-27（1.35m）または CWA-28（2m）を手配してください。



4. タンク給水ホース（別売品）の使用可能な条件

止水栓とタンクの間の距離によって使用できない場合があります。

- **右図の距離が 15cm ～ 30cm の場合：**
  タンク給水ホースが使用できます。
- **右図の距離が 15cm ～ 30cm 以外の場合：**
  タンク給水ホースが使用できません。
  ※ 既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。
  裏面をご覧ください。



快適機能の設定はしないでください！

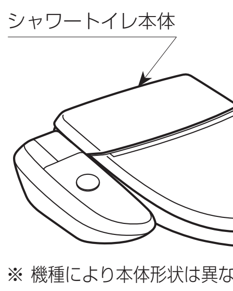
■快適機能の設定はお客様におまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客様の好みで設定する必要があります。したがってできる限り、お客さまで設定するようお願いいたします。もし、施工業者様で設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。

特に**節電機能**は、お客様が意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

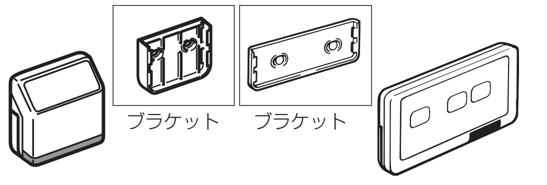
快適機能とは
シャワートイレを快適に使用していただくためのお客様のための機能です。
代表的な快適機能には、
●便座・温水の温度＊　**●脱臭機能**　**●節電機能**
●便座ヒーターオート OFF
などがあります。
＊：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
※機種によっては、一部機能がない場合があります。

部品の確認（梱包内容を確認してください。）



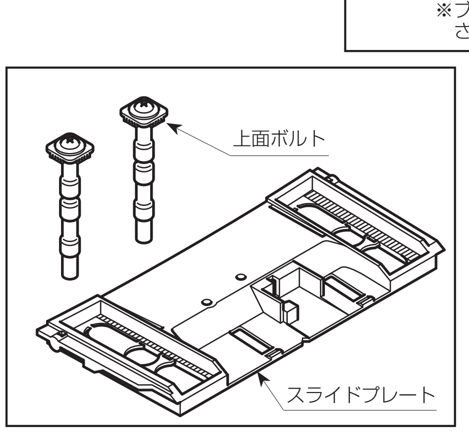
※ 機種により本体形状は異なります。（上図は CW-K47、K45、K37、K35 型）

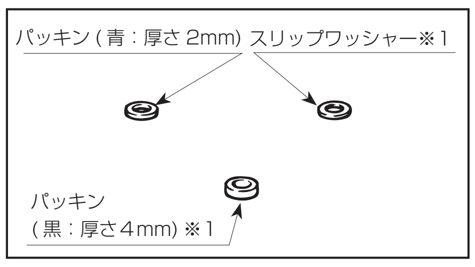
リモコンは下記のいずれか一方が同梱されます。
※ **リモコンの施工は、裏側の手順 6 をご覧ください。**
※ CW-K43、K41、K33、K31 型には、リモコンは同梱してありません。


ブラケット
ブラケット

●便座開閉用リモコン（CW-K47,K45,K37,K35 型）
●便器洗浄用リモコン（CW-K43Q,K41Q,K33Q,K31Q 型）
●便座開閉・便器洗浄用リモコン（CW-K47Q,K45Q,K37Q,K35Q型）

※ブラケットは本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。

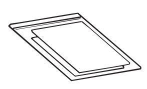

上面ボルト
スライドプレート

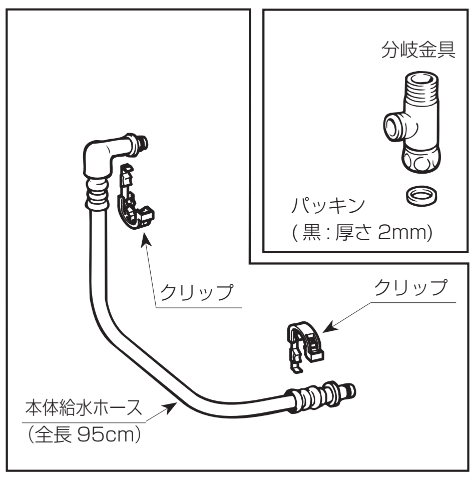

パッキン (青：厚さ 2mm)
スリップワッシャー※1
パッキン
(黒：厚さ 4mm) ※1

※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

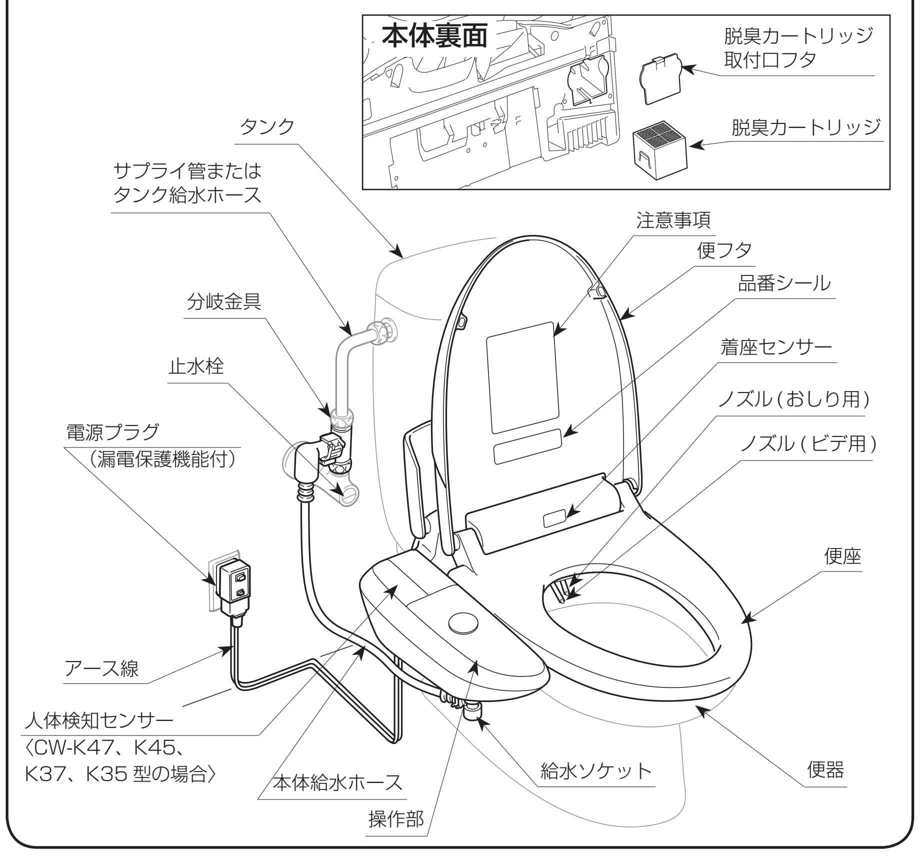
※ 1：既存のサプライ管を切断した場合に使用します。

説明書セット

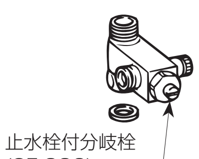



クリップ
クリップ
本体給水ホース
(全長 95cm)
分岐金具
パッキン
(黒：厚さ 2mm)

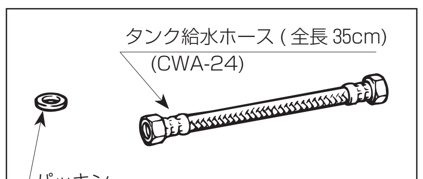
各　部　の　な　ま　え



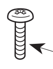
■別売品



止水栓付分岐栓
(CF-006)
※止水栓付を使用する場合は別途こちらを手配してください。



パッキン
(青：外径 18mm、内径 12mm、厚さ 2mm)
※パッキンはシャワートイレに同梱のパッキン (青：厚さ 2mm) をご使用ください。

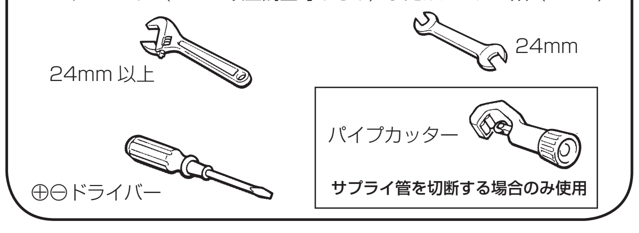


固定ビス
(H20-648)

※本体着脱プレートを本体に固定して、スライド着脱機能を無効にできます。
※便座昇降装置おしリフト (CWA-40) とセットする場合、おしリフトに同梱されています。

準備工具

モンキーレンチ（24mm 以上調整可のもの）またはスパナー類（24mm）


24mm 以上
24mm
⊕⊖ドライバー
パイプカッター
サプライ管を切断する場合のみ使用

商品・施工方法についてのお問い合わせは、INAXお客さま相談センターまで　ナビダイヤル　TEL 0570-017173　FAX 0570-017178
受付時間　平日 9:00～18:00　土・日・祝日 10:00～18:00（夏期・年末年始の休みは除く）
※ ナビダイヤルは、PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。右記番号をご利用ください。 TEL 0562-31-0793　FAX 0562-31-0797

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。

お客さまへ

※ 本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、㈱ INAX メンテナンスでも商品の取り付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

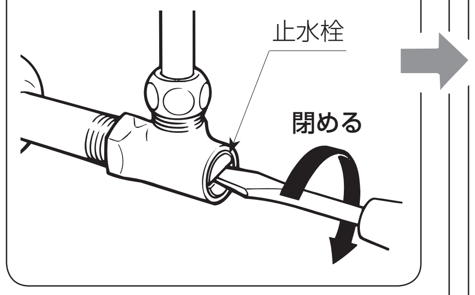
1 分岐金具の取付け

注意 1 参照

1. 止水栓を閉めます。

便器の止水栓を⊖ドライバー等でいっぱいに閉め、給水を止めます。

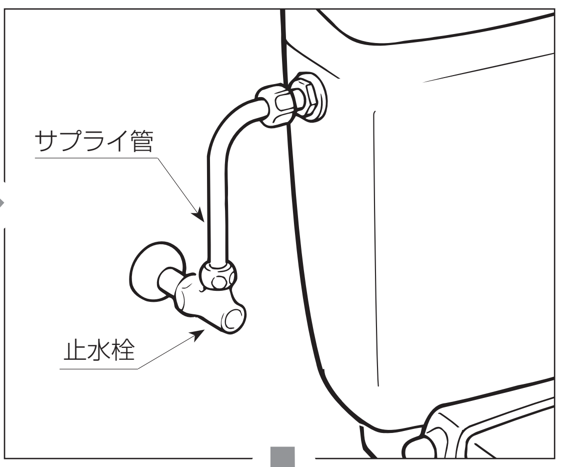
※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

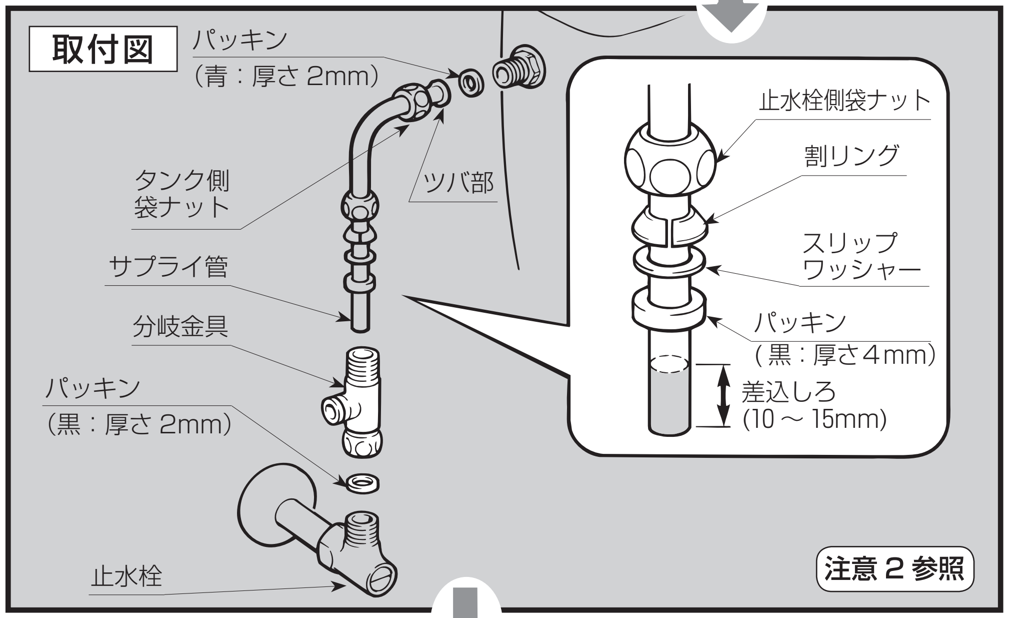


2. 給水の確認を行います。

止水栓と便器（タンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付け方法が異なります。

■ 止水栓と便器（タンク）がサプライ管で接続されている場合



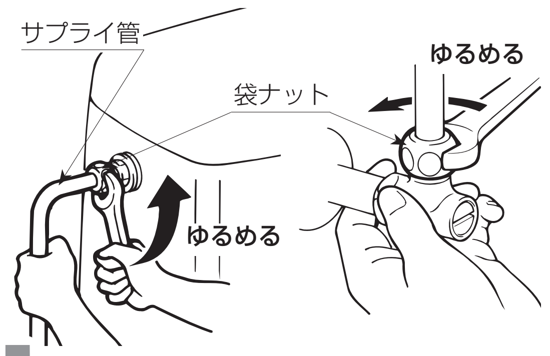


注意 2 参照

3. サプライ管を外します。

(1) タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサプライ管を外します。

※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



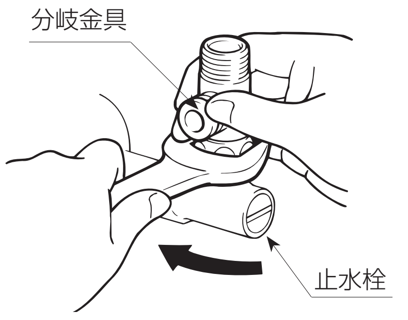
注意 3 参照

4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。

（締付トルク 10 ～ 15N・m ｛100 ～ 150kgf・cm｝）

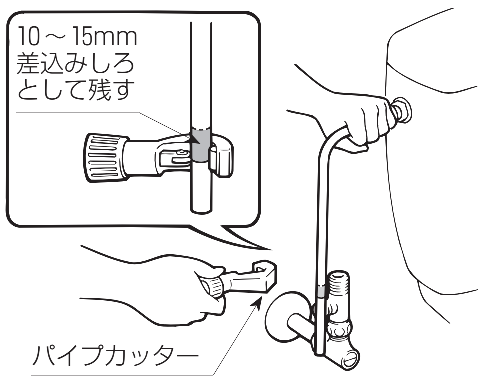
別売品の**タンク給水ホース**を取り付ける場合は、裏面の**「補足」**をご覧ください。



5. サプライ管を切断します。

(1) サプライ管の端（ツバのない側）を現物合わせで、分岐金具の差込しろとして 10 ～ 15mm 残るように印を付けます。

(2) パイプカッターを使ってサプライ管を切断します。



注意 5 参照

6. サプライ管を取り付けます。

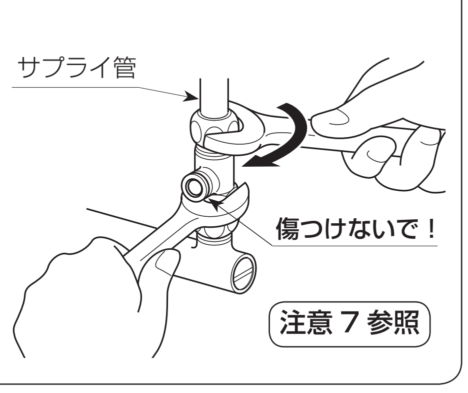
(1) 切断したサプライ管にタンク側の袋ナット、分岐金具側の袋ナット、割リング、スリップワッシャー、パッキン（黒：厚さ 4mm）を通して分岐金具に差し込みます。（上記の取付図参照）

(2) ボールタップとサプライ管の間にパッキン（青：厚さ 2mm）をはさみ、タンク側の袋ナットをはじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めします。 注意 4,6 参照

(3) 分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めします。

（締付トルク 10 ～ 15N・m ｛100 ～ 150kgf・cm｝）

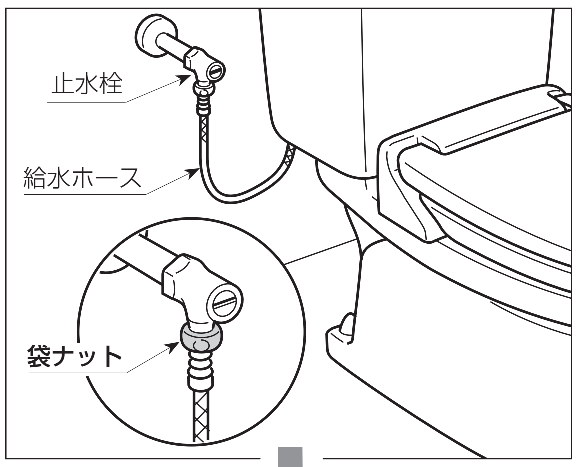
増締め時、分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当てて、分岐金具を固定しながら袋ナットを締め付けます。

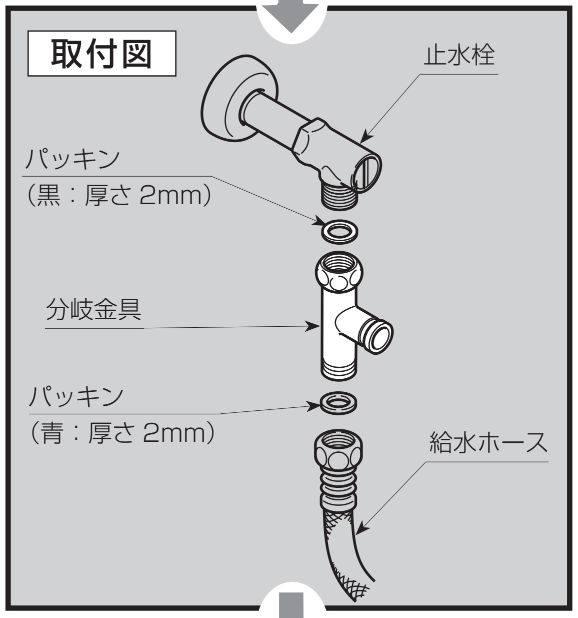


注意 7 参照

■ 止水栓と便器（タンク）が給水ホースで接続されている場合

●給水ホースを袋ナットで固定

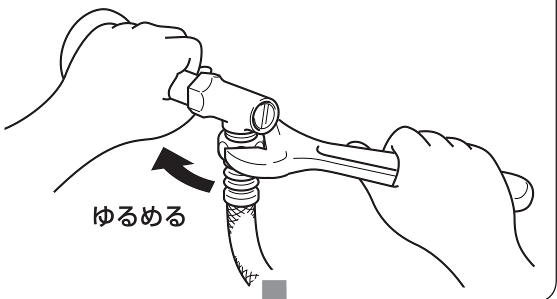




3. 給水ホースを外します。

(1) 止水栓側の袋ナットをゆるめます。

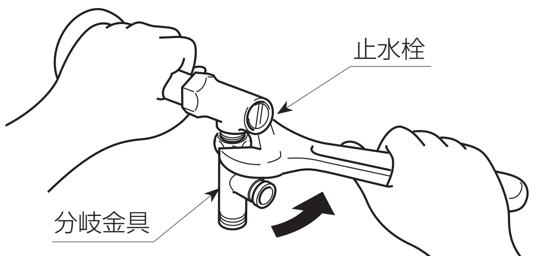
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。

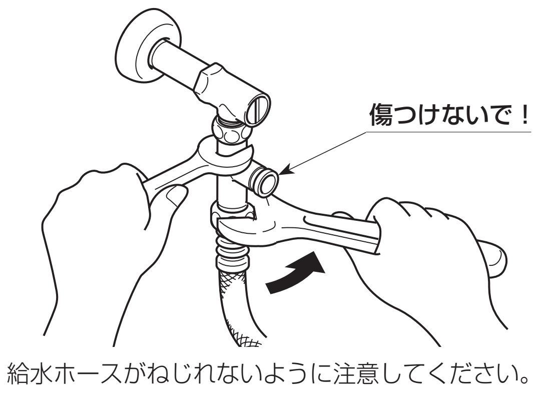
（締付トルク 10 ～ 15N・m ｛100 ～ 150kgf・cm｝）



5. 給水ホースを取り付けます。

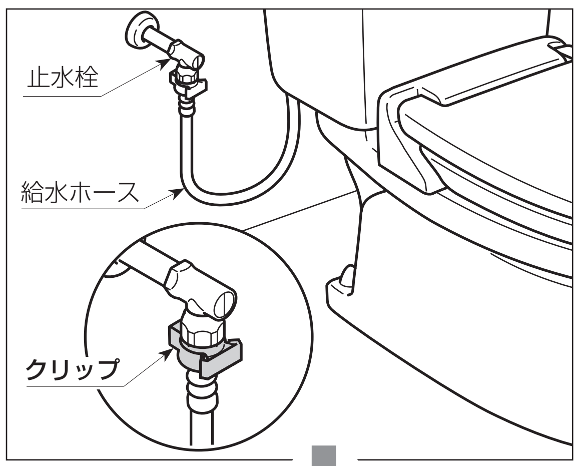
(1) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れて給水ホースを分岐金具に取り付けます。

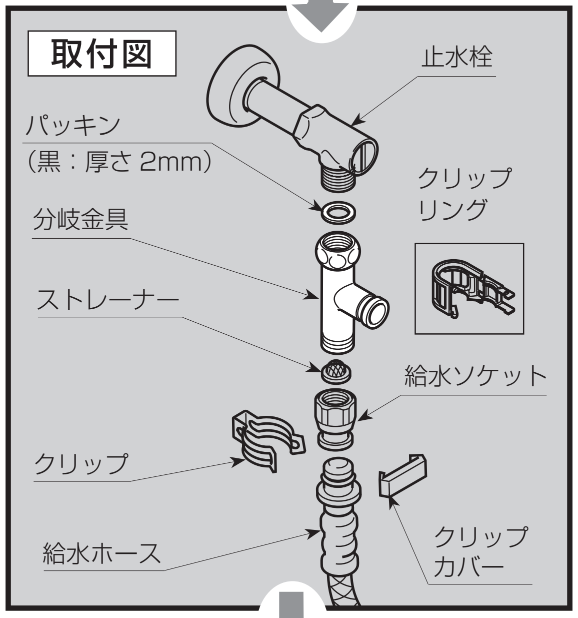
(2) 分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナー等でしっかり締め付けます。



給水ホースがねじれないように注意してください。

●給水ホースをクリップで固定



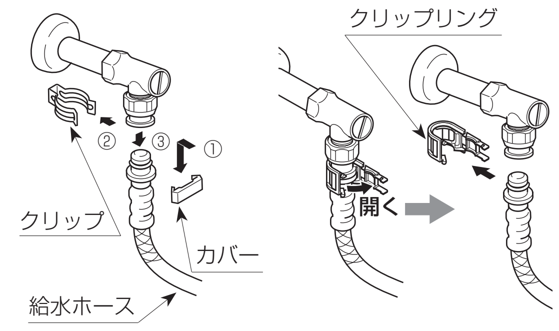


3. 給水ホースと給水ソケットを外します。

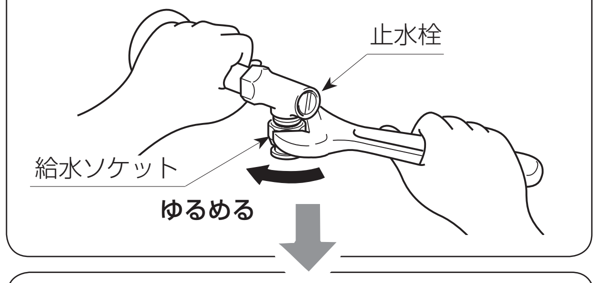
(1) 止水栓からクリップを外してホースを抜きます。

※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

■クリップ式の場合　**■クリップリング式の場合**



(2) 給水ソケットとストレーナーを外します。



4. 分岐金具を取り付けます。

（左記参照）

5. 給水ホースと給水ソケットを取り付けます。

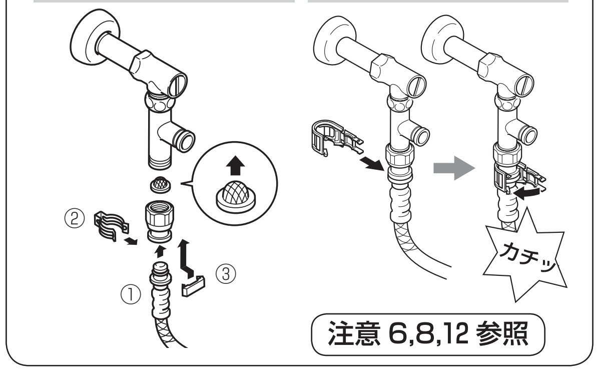
(1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。

（締付トルク 10 ～ 15N・m ｛100 ～ 150kgf・cm｝）

(2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップで固定します。

取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。

■クリップ式の場合　**■クリップリング式の場合**



注意 6,8,12 参照

注意 1

- **止水栓に分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006(止水栓付) を使用してください。**
  ※上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

注意 2

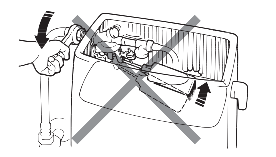
- **各部品の向きと順序を間違えないでください。**
  ※間違えると漏水します。
- **既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24）を別途手配してください。**
  ※漏水の原因になります。

注意 3

- **止水栓やサプライ管に無理な力をかけないでください。**
  ※破損して漏水する恐れがあります。

注意 4

- **ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締めてください。**
  ※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



注意 5

- **サプライ管のツバ部は絶対に切断しないでください。**
- **サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続してください。**
- **止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定してください。**
  ※漏水の原因になります。
  固定できない場合はタンク給水ホース（別売品）をご使用ください。

注意 6

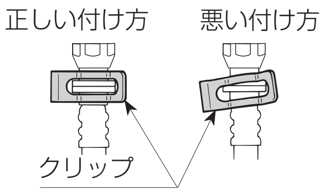
- **INAX 製ストレーナー付便器の場合は、別途手配のストレーナー付パッキンに交換してください。このとき同梱の青パッキン（厚さ 2mm）は取り付けないでください。**
  品番：26-10-2

注意 7

- **サプライ管の接続は確実に行ってください。**
  ※袋ナットの締付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

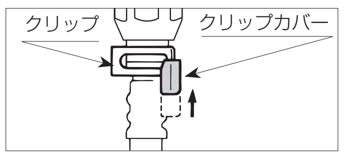
注意 8

- **O リングを傷つけないように注意してください。**
  ※O リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- **クリップは確実にはめ込んでください。**
  ※きちんとはまっていないと漏水します。

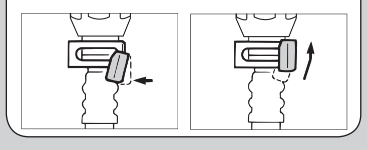


- **クリップカバーは下記の様にはめ込んでください。**

① クリップカバーをクリップに引っかけます。



② クリップカバーの後側を押し上げ気味に差し込みます。



注意 9

- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意してください。

注意 10

- O リングを傷つけないように注意してください。
  ※O リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

注意 11

- 給水ソケットは回りませんのでご注意ください。

注意 12

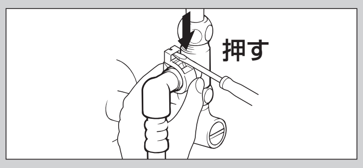
- クリップは確実にはめ込んでください。
  ※きちんとはまっていないと漏水します。

注意 13

- クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
  ※きちんとはまっていないと漏水します。

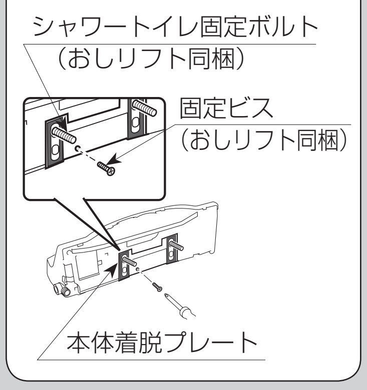
参考 1

- クリップを外す際は、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように下方向に押すようにして外してください。



注意 14

- 便座昇降装置おしリフト (CWA-40) とセットする場合､おしリフト説明書セットに同梱の固定ビスを本体着脱プレートのビス穴に取り付けてください。

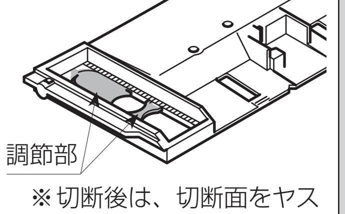


参考 2

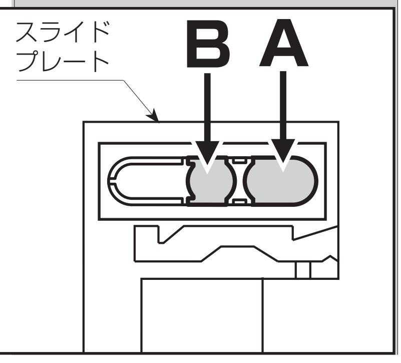
- 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
- 取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをおすすめします。

注意 15

- プレートの穴が合わない場合は、下図で示す調節部をニッパ等で切断して長穴にしてください。

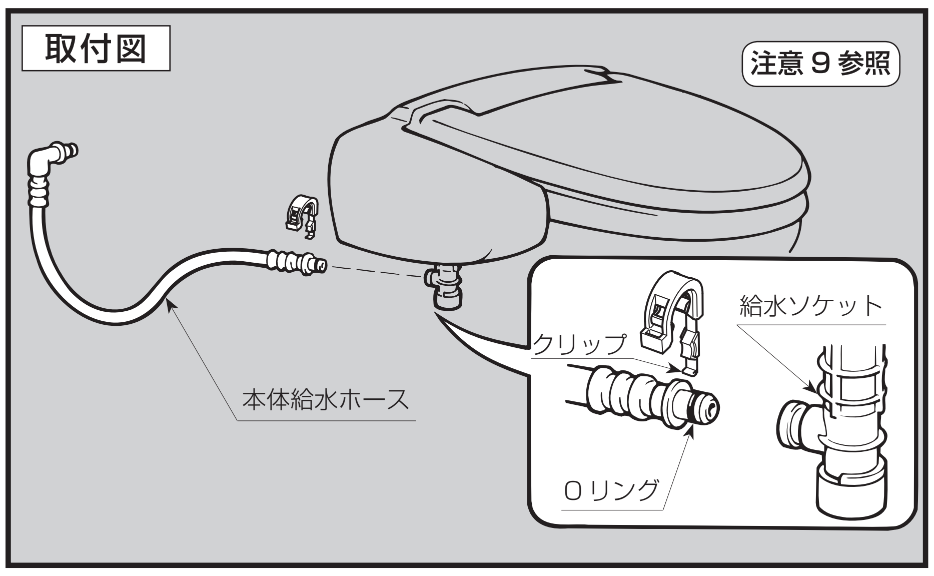


※切断後は、切断面をヤスリ等で仕上げてください。



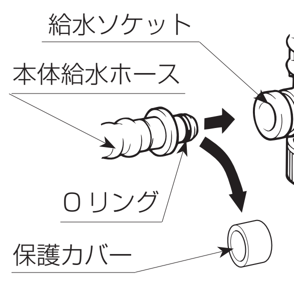
2 本体給水ホースの取付け（本体側）

取付図



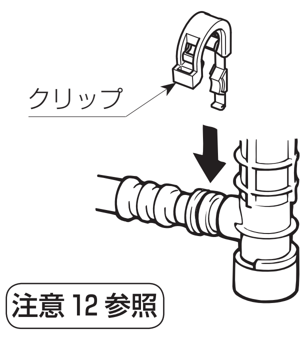
注意 9 参照

(1) 給水ホース先端の保護カバーを外し、本体給水ホースを給水ソケットに差し込みます。



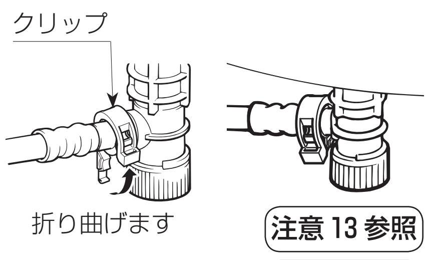
注意 10,11 参照

(2) クリップを本体給水ホースと給水ソケットに差し込みます。
※クリップに方向性はありません。



注意 12 参照

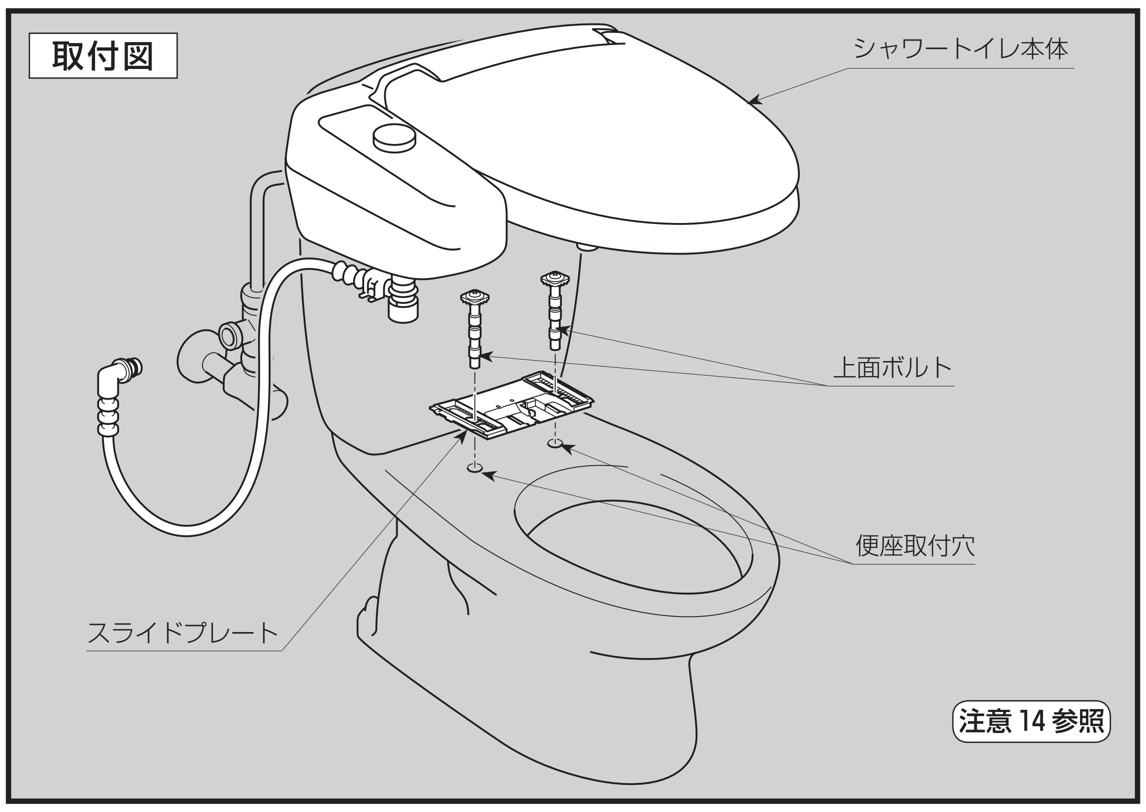
(3) クリップを折り曲げ、本体給水ホースと給水ソケットを確実に固定します。
取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。



注意 13 参照
参考 1 参照

3 シャワートイレ本体の取付け

取付図

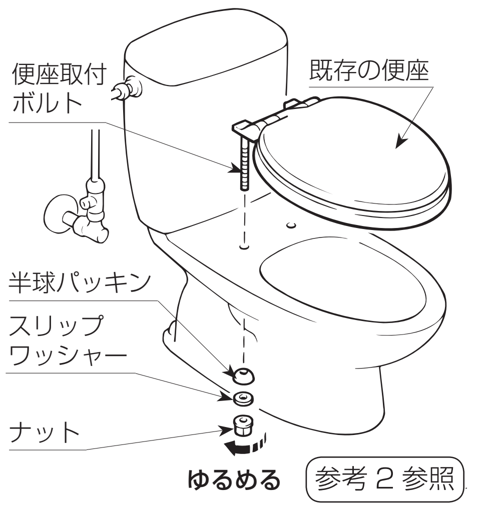


注意 14 参照

1. 既存の便座を取り外します。

■ボルト式の場合

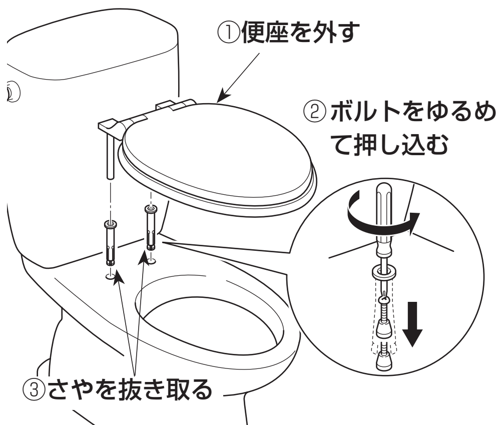
便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外し、便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外します。



参考 2 参照

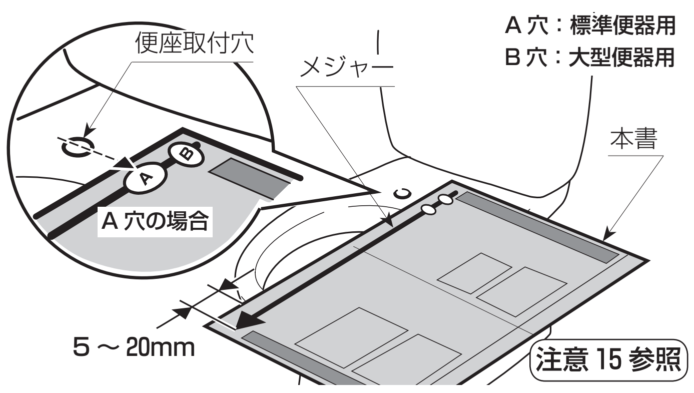
■さや式の場合

(1) 既存の便座を持ち上げて外します。
(2) さやの中のボルトをゆるめて、ボルトを下に押し込みます。
(3) さや 2 本を便器から抜き取ります。



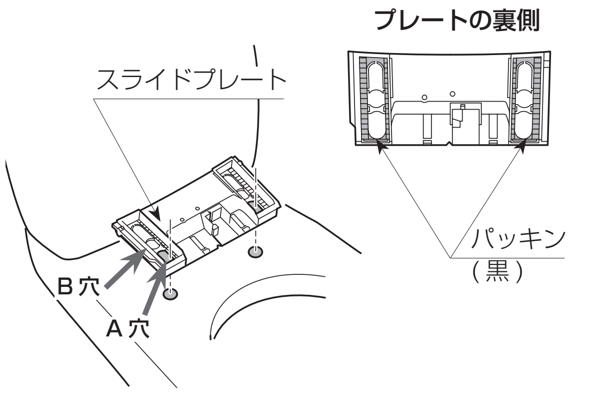
2. スライドプレートを便器に固定します。

(1) 下記メジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、プレートの穴を決定します。
① メジャーの A または B を便座取付穴に合わせます。
② 矢印が便器先端から 5 ～ 20mm 出る穴を選択します。

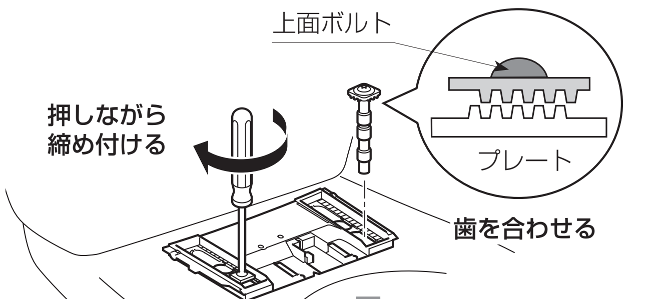


注意 15 参照

(2) 便座取付穴とプレートの穴を合わせます。
※ プレートの向きを間違わないでください。黒いパッキンがついている側を便器側に向けます。



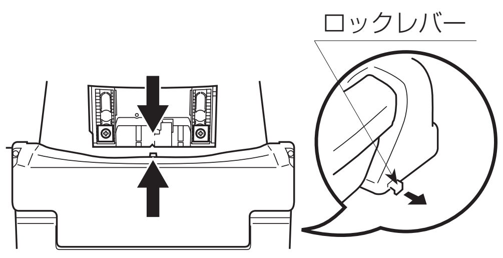
(3) 上面ボルト 2 本を穴に差し込んでプレートの凹凸を合わせます。
(4) ボルトが浮かないように上から押しながら、回らなくなるまでしっかり締め込みます。（参考：締付トルク 1 ～ 3N・m）
※ 締め込みがゆるいと便座がずれたり外れる原因になります。
※ ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。
※ インパクトドライバーは使用しないでください。



3. 本体を取り付けます。

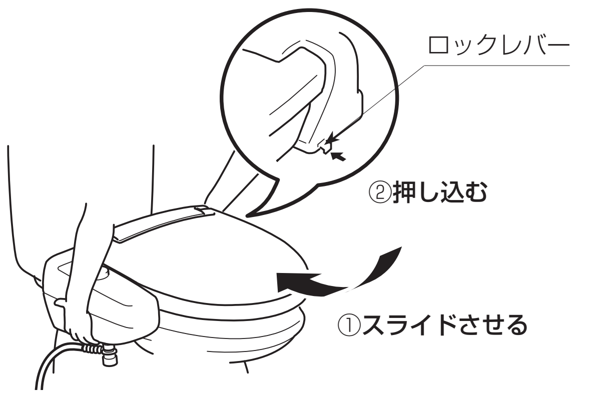
別売品の部屋暖房ユニットまたはプラズマクラスターイオンユニットを取付ける場合は、シャワートイレ本体を便器に設置する前に取り付けてください。
※部屋暖房ユニットまたはプラズマクラスターイオンユニットの取付けは各施工説明書を参照してください。

(1) 本体を便器の上に置き、プレートの切り欠きと本体背面部にある凸部を合わせます。
(2) ロックレバーを引き出します。



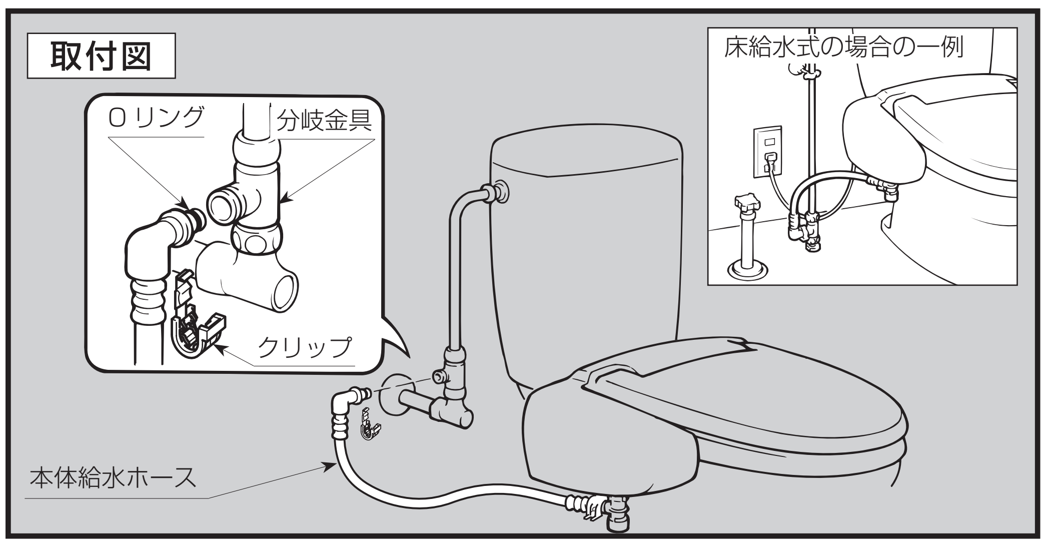
(3) 手前を少し浮かせるようにして、本体をプレートが見えなくなるまで奥にスライドさせ、ロックレバーを押し込んで固定します。
※奥までしっかりスライドしないと、ロックレバーは押し込めません。

固定後、本体を軽く前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認します。

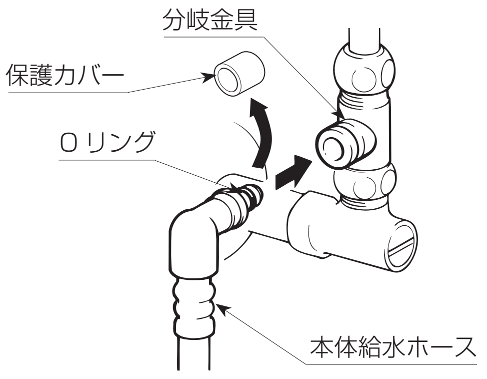


4 本体給水ホースの取付け（分岐金具側）

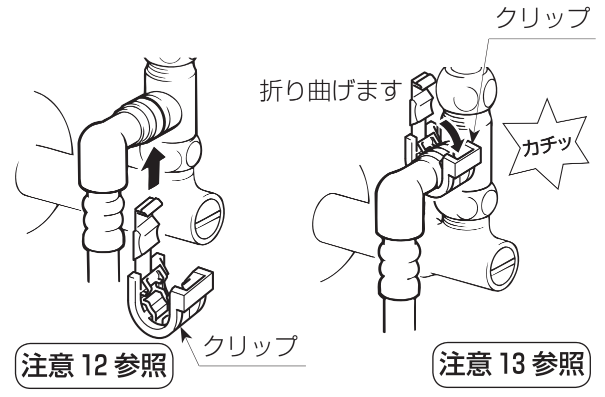
取付図



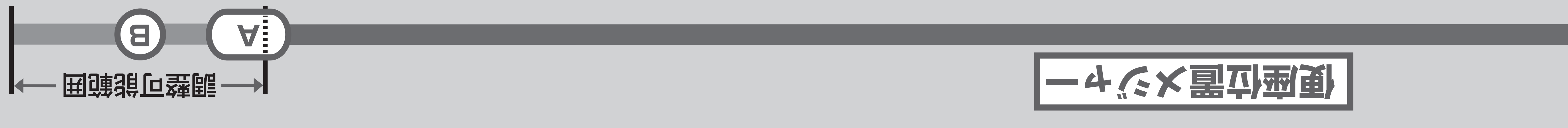
(1) 給水ホース先端の保護カバーを外し、本体給水ホースを分岐金具に差し込みます。 注意 10 参照



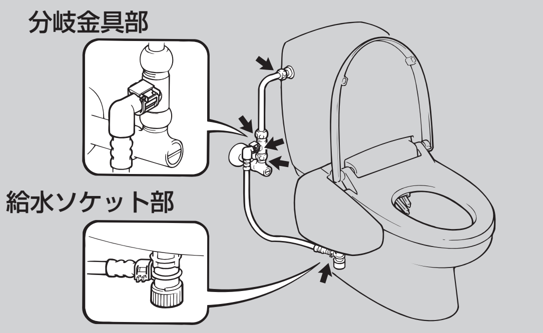
(2) 本体側と同様にクリップを取り付け、クリップを回して確実にはまっていることを確認してください。



注意 12 参照
注意 13 参照

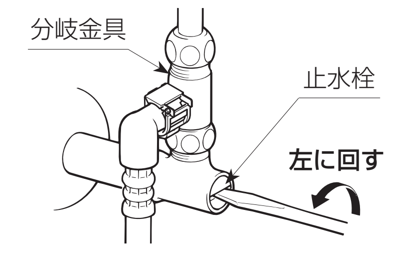


5 通水の確認



注意 16,17 参照

(1) 止水栓を元の位置まで左に回して開き、タンクおよびシャワートイレに給水します。



(2) タンクの洗浄ハンドルを操作して各接続部の漏水がないことを確認します。
※ 漏水する場合は、ナット類を締め直すか、再組付けしてください。

(3) タンクに水がたまり、そのあと確実に水が止まることを確認します。
※ タンクに水がたまらなかったり、または水が止まらない場合は、ボールタップと浮玉を確認してください。

注意 16 参照

6 リモコンの位置決め・取付け（リモコン付の場合のみ）

※ CW-K47,K45,K37,K35 型…リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。
CW-K47Q,K45Q,K37Q,K35Q,K43Q,K41Q,K33Q,K31Q 型…フルオート便器洗浄ユニットに同梱の施工説明書をご覧ください。

7 電源の接続

1. アース線を接続します。

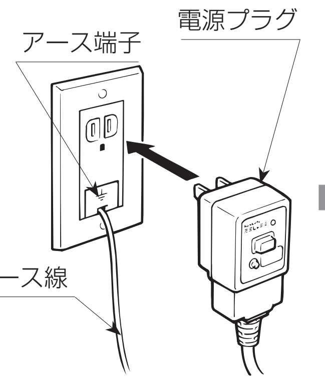
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

注意 18 参照

⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

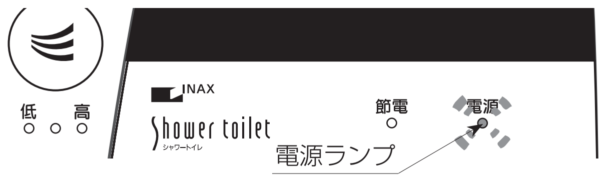
アース接続



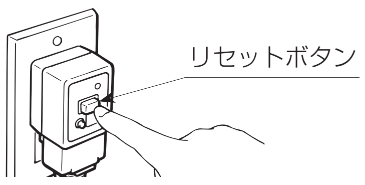
3. 電源が入っていることを確認します。

(1) 本体の電源ランプ（緑）が点灯することを確認します。

(2) 温水タンクの空だき防止のため、試運転までは電源スイッチを押して、すべての表示ランプが消えた状態にしておきます。



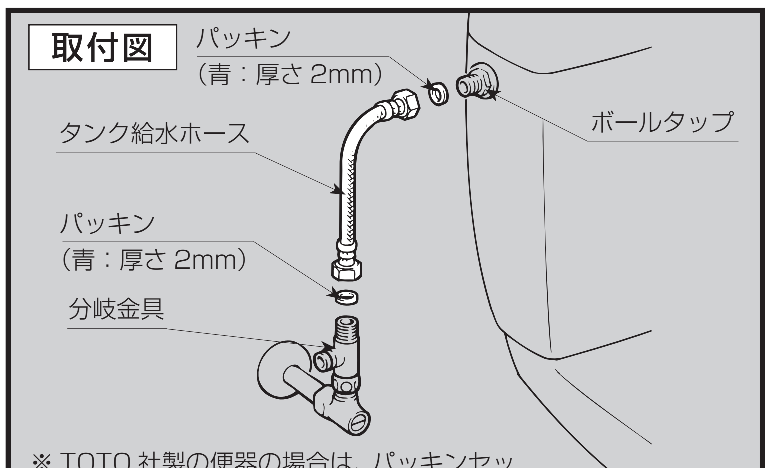
もし、電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプ（緑）が点灯することを確認します。



【補足】タンク給水ホース（別売品）の取付け

●先頭ページの【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。

取付図



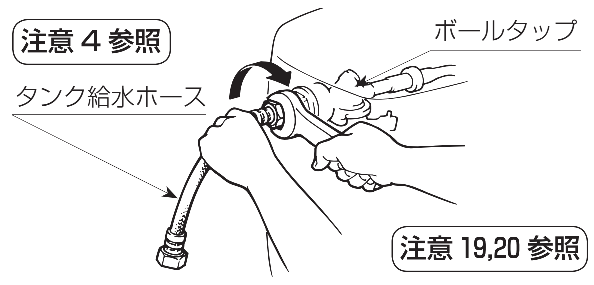
※ TOTO 社製の便器の場合は、パッキンセット袋に同梱の説明書をご覧ください。

注意 6 参照

タンク給水ホースを取り付けます。

(1) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れてタンク給水ホースをボールタップに取り付けます。

注意 4 参照

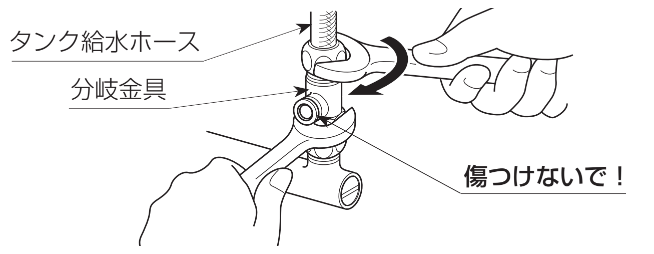


注意 19,20 参照

タンク給水ホースがねじれないように手で軽く押えて袋ナットを締め付けてください。

(2) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れてタンク給水ホースを分岐金具に取り付けます。

(3) 分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、タンク給水ホースの袋ナットをスパナー等でしっかり締め付けます。



試 運 転 （施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

1. 電源スイッチを押します。

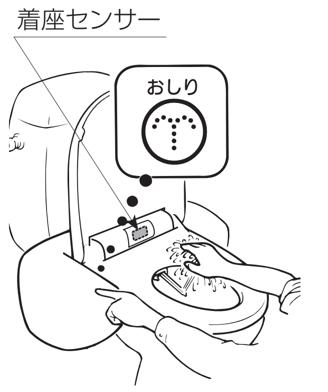
2. おしり洗浄を確認してください。 注意 21 参照

(1) 着座センサーを紙や布で覆ってください。
※ 人が便座に座ったことを感知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥〈乾燥付の場合〉は、着座していないと作動しません。
〈CW-K47、K45、K37、K35 の場合〉
※ 便フタ・便座開閉は着座センサーを紙や布で覆った状態では作動しません。
確認する際は、いったん紙や布を外してから操作してください。

(2) おしりスイッチを押します。
このとき、シャワーが噴出しますので、周囲に飛び散らないように手の平で受けます。
※ はじめは、タンクが空になっています。タンクが満水になってからノズルが伸びてシャワーが出るまで 1 ～ 2 分程度かかります。
（洗浄強さダイアルを最強にしておくと早く出てきます。）
シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。

3. ビデ洗浄を確認してください。

おしり洗浄と同じようにビデスイッチを押します。ビデ用ノズルが伸びて、おしり洗浄よりも約 25mm 前にシャワーが噴出します。



※ 脱臭スイッチはありません。
自動でファンが作動します。

参考 3 参照

施工業者さまへ

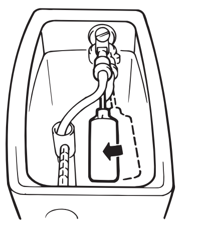
お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

注意 16

●タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認してください。

浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直してください。

(1) タンクのナットをゆるめて、ボールタップを垂直に立てます。



(2) ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。

注意 17

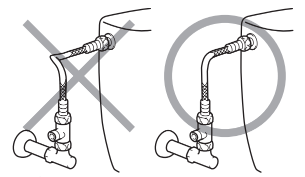
●止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ストレーナー部から漏水します。

注意 18

●必ず便器への取付けが終了してから電源を入れてください。

注意 19

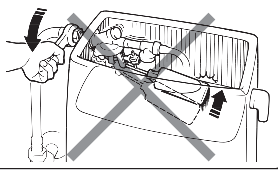
●タンク給水ホースは鋭角に曲げないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



●パッキンは必ず付属品をお使いください。
※漏水する恐れがあります。

注意 20

●ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締めてください。
※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



注意 21

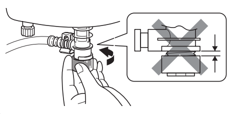
●便フタを閉じた状態で外し、使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥（乾燥付の場合）の各機能が作動しません。

参考 3

●脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

注意 22

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※ストレーナー部から漏水します。



水の出方が悪い場合は、給水ソケットの中にあるストレーナーを掃除してください。

注意 22 参照

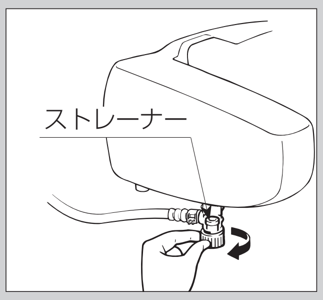
(1) 止水栓を右に回して閉めます。
止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

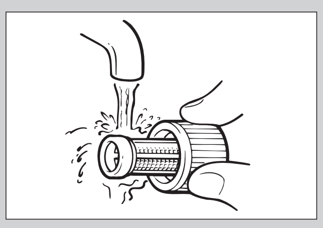
(2) 本体左下のストレーナーを外します。
このとき、洗面器等を下に置きます。

(3) ストレーナーを掃除します。

(4) ストレーナーをしっかりと締め付けます。

(5) 止水栓を元の位置まで開きます。

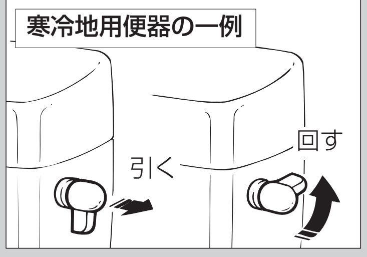




お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

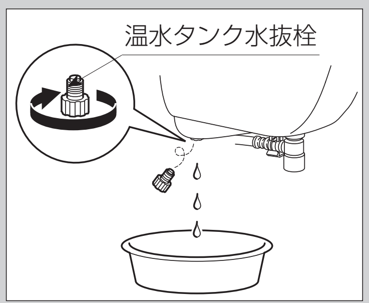
(1) 止水栓を右に回して閉め、タンクへの給水を止めます。
（寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。）

寒冷地用便器の一例



(2) タンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

(3) 洗面器等を下に置き、本体左下の温水タンク水抜栓を外して温水タンク内の水を抜きます。



(4) 本体左下のストレーナーを外します。

注意 22 参照

(5) 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

(6) おしりスイッチを押します。（本体バルブ内の水を抜きます。）
約 5 秒後、止スイッチを押してください。

(7) ストレーナーと温水タンク水抜栓をしっかりと締め付けます。

注意 22 参照

(8) 電源プラグをコンセントから抜きます。